

—世界遺産にふさわしい「普遍的価値」のために知らなければならないこと—

日韓市民による世界遺産ガイドブック

「明治日本の産業革命遺産」と強制労働

2015年7月、「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界遺産に登録されました。それは「西洋から非西洋への産業化の移転が成功したことを証言する」「顕著な普遍的価値」を持つ産業遺産とされ、「富国強兵」「殖産興業」のスローガンのもとで、朝鮮半島の植民地化、中国大陸での利権拡大をめざしてアジア侵略へ突き進んだ日本の産業化の歴史を賛美するものでした。日中戦争、太平洋戦争期には、三菱高島炭鉱（高島・端島[軍艦島]）や三井三池炭鉱、日鉄八幡製鉄所、三菱長崎造船所などは、数多くの朝鮮人が強制労働を強いられた施設です。

これに対し、韓国政府は当初、「国際平和と人類の共通の福祉」を目的とするユネスコの精神に反するものとし、登録に反対しましたが、日本政府が「歴史の全貌」を説明するための措置を実施することを条件に、登録が認められました。しかし、日本政府は、朝鮮人などを「働かせた」が、「強制労働」ではなかったと主張しています。

そこで、日韓の市民が共同でこのガイドブックを作成しました。真の歴史を知るために、ぜひともご購読ください。



目次

はじめに	2
1 「明治日本の産業革命遺産」の構成と特徴	5
「明治日本の産業革命遺産」の分布	6
日本の産業遺産登録の試みと遺産構成	9
九州地域の産業遺産施設における案内の現状	12
2 「明治日本の産業革命遺産」の歴史—侵略戦争、植民地、強制労働	15
アジア侵略によって成し遂げられた明治日本の近代化	16
植民地朝鮮からの強制動員	20
アジア太平洋戦争期における中国人と連合軍捕虜の強制労働	24
3 強制労働の現場—製鉄所、造船所、炭鉱	29
八幡製鉄所：日清戦争での賠償金で建設	30
三菱長崎造船所：魚雷・軍艦の生産と原爆	42
高島・端島の炭鉱：三菱鉱業の「圧制のヤマ」	52
三池炭鉱：強制労働で成長した三井財閥の炭鉱	64
4 世界遺産で強制労働を語り伝える意義	75
世界遺産の中の強制労働	76
未解決の戦後補償：強制労働被害者の権利	79
強制動員の歴史の記憶と継承のための活動	81
資料	
日韓市民団体共同声明書（2017年7月）	85

ブックレットの申込み **1部500円**（送料込）

ただし 10部以上まとめて購入の場合1部400円（送料無料）

下記郵便振替口座への入金確認後の発送になります。

送金先：[郵便振替口座] 00930-9-297182 真相究明ネット

問合せ先 神戸学生青年センター 078-851-2760 携帯 090-8482-9725（中田）